慶祝 皇太子殿下御成婚

四月十日の佳き日

全市民心からお慶び申し上げよう

皇太子殿下と正田美智子さんの御結婚の儀は四月十日、いよいよ数日後にその佳き日を迎える。日本国中、国民あげて奉祝申し上げるわけだが、特に日光は古くから、皇太子殿下始め皇室とは深い御縁にあるので、この日は市民の久しく待望していた日でもある。この機に臨み、少年時代を、我が街、日光で過された皇太子殿下の姿をもう一度考へてみたいと思つて、殿下に最も深くお仕へした方々を尋ねてみた。

正田美智子さんが皇太子妃となつて使ふ「おしるし」が白樺と決つた。美智子さんは野菊を

昭和三十三年十月二十五日第四回目の日光御来訪の折南間ホテルでくつろがれる皇太子殿下（南間家氏提供）

皇太子殿下御成婚奉祝 市民旗行列

四月十日　午前九時三十分　国鉄駅前集合。同十時　皇太子御成婚式典の時刻に市長の発唱による万才三唱、その後、精銅所音楽隊を先頭に、四列従隊で市役所前、神橋、公会堂前迄行進し、後星が到着するのを待つて、議長の発唱による万才三唱して解散する。奉祝旗行列に使ふ旗は、学校及び自治会を通じて配布、市民は自由な立場で参加していただきたい。又当日及十日の五周年記念式典の日には国旗を掲揚していただきたい。

今回の御成婚を心から喜んで「殿下の御立派な様子が目に浮ぶようです」と言葉少なにその喜びを話された。さて市ではこの御成婚を奉祝して次の様な方法で市民の慶祝旗行列をしてお祝いすることにしたなお当日　市役所は休庁する。

推されたらしいが、軽井沢や日光の自然美を愛されたこの殿下は、白樺を強く推されたそうであるこのことについて、湯元の南間家氏は、別項の様な一文を寄せられ、日光の白樺を守りたいと力説された。白樺は文学的な樹木だ。この機会に日光の白樺を守る大運動を起して皇太子殿下のお気持に答えたいものだと思ふ。次に山内の貴船さんをお尋ねして、いろいろお話をうかがつた。貴船さんは別項にお祝いの言葉をお願いした小池さん同様、殿下や御学友のお世話をされていた方だが、

今回の御成婚を心から喜んで「殿下の御立派な様子が目に浮ぶようです」と言葉少なにその喜びを話された。さて市ではこの御成婚を奉祝して次の様な方法で市民の慶祝旗行列をしてお祝いすることにしたなお当日　市役所は休庁する。

日光には田母沢の御用邸の外に附属御用邸などもあつた関係から陛下を始め御皇族や各宮様を沢山お迎えして日光市民との御縁故には深いものがあり、幸の湖の御命名、精銅所への御行幸等憶い出もたいへんな数になります。その余慶をうけて山奥のさゝやかな南間にも各宮様方の御用命をいただいたことかと大そう光栄に存じて居ります。そのうえ終戦をさかいにして、皇太子さま数ケ月間の民間には全く例のないことながら東宮仮御所の御門標が立つて居た時代のことを省みて日光市民の方々と共々に御成婚を慶祝する気持の上にも一だんとなつかしいものを感じます。

田母沢附近の森や川奥日光一帯の山や湖にも皇太子さま御幼年の頃の御感銘の数々が秘められていらつしやると思います。

皇太子さまが御婚儀に際しお印として今度「白樺」を御決定になられましたことも必ずしも軽井沢のそれのみでなく奥日光の白樺のお思出もはつきりと思い浮ばれたことと拝されます。

奥日光の白樺はまだまだあちらこちらのようにむざんな損傷をうけて居ないのですが、今のうちに愛護運動に努力しないと心配でなりません。本当に高原の二の舞になることを大そう心配しております。

御練開当時はなにしろ六年生と言ふご幼年でもありまだお坊ヂヤンでございましたがそれから二度三度お出ましになるにつけ昨秋四度目にはもう立派なご青年でかような御成育のご経過を見るにつけ、つくづく近い日本の将来の象徴として殿下をお迎えする機までなんとか生き永らえて居たいものと考えています。

いまご結婚を間ぢかにして国をあげてお祝いのブームに心賑やかなものがあります。都も花の真

がこれからどんなにか心なき人々によつてきずつけられることかこれまた心配でなりません。本当に社会に融けこまれた御態度でこの上もなく温かさが感じられます。

この度は殿下の御希望通りの妃殿下をお迎え遊ばされ、新しい御生活の第一歩をふまれることをお心よりお喜び申しあげます。

御成婚後も必ず日光へお揃いで御出ましになります事でございましょう。

殿下のよき思い出の地であると共に、今後は両殿下の御憩いの地に遊ばされます様、お待ち申しあげる次第でございます。

皇太子殿下の御成婚を祝して

小池秀子

皇太子殿下の御成婚を心よりお喜び申上げます。国をあげてのお祝でございますが、特に日光は、殿下の御幼少の折からのおなじみの地で思い出も多く本当に身近かな方の御慶事のように感じられます。

学習院初等科で疎開なされましたご生活から湯元を引あげられるまでお世話申しました私にとりまして。この度の御慶事は無量でございます。

当時御不自由な御生活でも何時も明るく学生方と御一緒でおやさしく常にいたわりのある御好意に頭の下がる思いでございました。

菊桜会には何時も御招待いただき御学友と御一緒に細かくお気をつかわれ、本当におやさしいお言葉をいただき感激いたしております。

の外お好きで毎年でも、お出になられたいお話をなされております。私共長年住んでおりますない事まで御存知で驚き入ります。

閣で開かれたクラス会の時に、「稲荷川沿いの紅葉が色がとても綺麗だつたけど今はどうですか」などと申され色々とおなつかしそうに思い出話をなされておられました。松屋敷の紅葉狩りが美しい思い出の一つなのでございましょう。植物園、湯元、戦場ケ原などすべてが忘れられない思い出ばかりでございます。

昨年十一月に御学友と御登晃の時にも「雨で残念でございました」と申しあげましたところ、雨でも少しも残念なことはなく、より以上に日光が好きになられたそうでございます。御立派に御成人なされました上に、社交的になられ種々とお言葉いただきましても堅苦しさがございません。本当に社会に融けこまれた御態度でこの上もなく温かさが感じられます。

この度は殿下の御希望通りの妃殿下をお迎え遊ばされ、新しい御生活の第一歩をふまれることをお心よりお喜び申しあげます。

御成婚後も必ず日光へお揃いで御出ましになります事でございましょう。

殿下のよき思い出の地であると共に、今後は両殿下の御憩いの地に遊ばされます様、お待ち申しあげる次第でございます。

記念祝賀行事案内

市制五周年記念式典、市民憲章公布、自治功労者発表

四月十五日九時三十分、名誉市民、市長、議長による記念植樹が公会堂前で行われる。このあと、十時より、市制施行五周年記念式典が、市民憲章公布、自治功労者表彰と併せて行われる。十時には花火も打ち上げられ、天候の具合いによつては祝賀飛行も行われる。

鱒釣々大会

鬼怒川漁業協同組合日光支部を主体に行ふが、期日は、四月十二日午前八時、花火を合図に開始する。場所は、大谷川、神橋上下流域で、放魚量は、三百三十八、二五キロ（九拾五貫）五寸以上二尺までで、会員券は、組合員（鬼怒川漁業）二百円、非組合員、三百円、子供（小中学生）百円、入漁券取扱所は、東町　横山釣具店、西町　申島釣具店、安良沢　森釣具店、清滝　今井時計店、審査は当日午后四時公会堂正面玄関前で行ふ。

剣道大会

主催は市と日光市剣道連盟、四月十二日の午前十時より東照宮武徳殿で行われる。参加は東武沿線の四市（栃木、鹿沼、今市、日光）で、各市十五名一組のリーグ戦で行われる。

学童生徒演劇発表会

市内小中学校生徒による、独唱、合奏、ダンス、音楽劇等で、十四日一時より約二時間公会堂で行われる。

敬老会

四月十五日、午後二時より公会堂に於て行われる。これは毎年秋の九月十五日としよりの日に行われていたものを、特に今年は記念式典に併せて行い、としよりの方々に、喜んでいただこうと云ふもの、招待するおとしよりは明治二十二年十二月三十一日に以前出生された方々だが、万一招待状がとどかない方は市役所福祉事務所まで申し出でただきたい。

おとしよりをおなぐさめする催物は、（司会漫談）岸馬郎（漫才）春日章、チエミ（三味線漫唱）玉川一恵（太神楽曲芸）海老染之助、染太郎、染五郎（歌謡曲）山路えり子、岡本敦郎（楽団）コロンビアABC。

なお往復には東武バスを配車して、おとしよりを送迎する。

市民慰安演芸大会

四月十五日、午后七時から九時まで公会堂に於て行われる。出演種目については「敬老会」の項と同じ

移動演芸会

記念式典に地理的に参加出来ない方々を移動演芸によりおなぐさめしようと云ふもの、内容についてはまだ決定していない。

祝賀古典舞踊（清元）

十六日夜、六時半開幕で、古典舞踊大会（清元）を開く。出演者は若柳吉兵衛門他で、若柳吉左衛門師匠の特別賛助出演がある（公会堂）

林業展示会

日光の産業の一つである林業を、市民に親しみやすく、目で見てわかるように展示する。展示部門は　①林業普及　②林木育種　③木材利用　④銘木　⑤林業機械で、これら展示物は主に日光及び小来川の森林組合を主体に行われる。会期は展示会期間中、公会堂で行われる。

漆器、木工品展示会

日光の特産としての木工が現在まで如何に継承されて来たかを歴史的に解明する。資料は国宝修理事務所よりの提供で、漆、彫刻等の資料をふんだんに並べる。現代の作品としは、第一部木地及彫刻品、第二部、一般作品、第三部、美術工芸品等が日光漆器協同組合より提供される。なお、美術工芸品については、希望の人に予約を受付ける。初日の十五日には県及び工芸指導所により審査会を開き、各部毎に知事賞、工芸指導所長賞、市長賞を決定し発表する。展示会期間中、公会堂で行われる。

記念植林

化緑　運動の一環として、皇太子御成

さかりとなります。日光市でも特殊の意味ある祝賀の気がまえを前にして

私共の心からお祝の意を表したいものです。